

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公表番号】特表2000-508662(P2000-508662A)

【公表日】平成12年7月11日(2000.7.11)

【出願番号】特願平9-537456

【国際特許分類第7版】

C 07D 219/06

A 61P 31/12

A 61P 31/18

A 61K 31/437

A 61K 31/473

C 07D 471/06

【F I】

C 07D 219/06

A 61K 31/00 6 3 1 H

A 61K 31/00 6 3 1 M

A 61K 31/435 6 0 5

A 61K 31/47 6 0 6

C 07D 471/06

【手続補正書】

【提出日】平成15年11月21日(2003.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年11月21日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第537456号

2. 補正をする者

名 称 アメリカ合衆国

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル206区
ユアサハラ法律特許事務所

電 話 3270-6641~6

氏 名 (8970) 弁理士 社 本 一 夫



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

別紙の通り



方 式 番 号

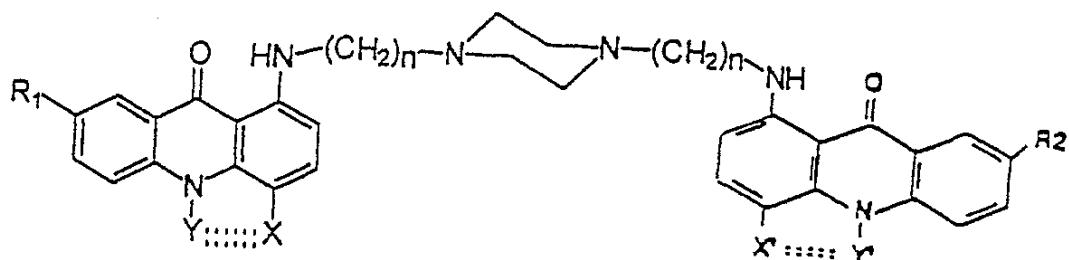
(別紙)

(1) 特許請求の範囲を以下の通り補正する。

『

請 求 の 範 囲

1. 下記の一般式 (I) :



(式中、

R₁ および R₂ は独立して -H、 -OH、 アミノ、 C₁-C₈ アルキルアミノ、 C₁-C₈ ジアルキルアミノ、 C₁-C₈ アルコキシ、 C₁-C₈ アルキル、 C₁-C₈ ハロアルキルまたはハロゲンであり；

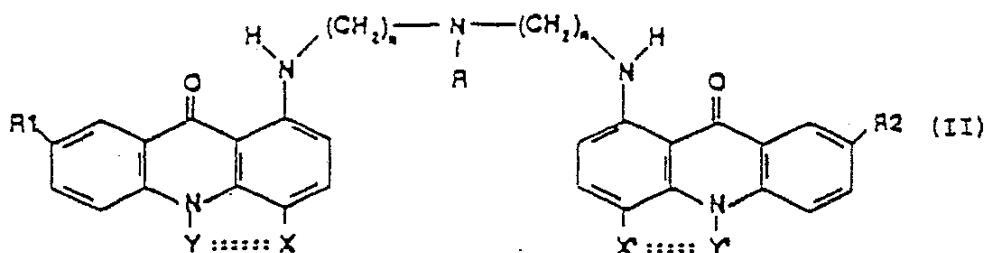
n は 2~6 であり；

X および X' は独立して -N または -NO₂ であり；

Y および Y' は独立して -N または -CH または -H であり；

二重破線は二重結合または結合なしを表し；したがって、 X または X' が -N であり、 Y または Y' が -CH または -N である場合、 二重破線は二重結合であり、 X または X' が -NO₂ であり、 Y または Y' が -H である場合、 二重破線は結合なしである) を含む化合物。

2. 次式：



(式中、

RはH、C₁—C₈アルキル、または組成物をプロドラッグとして機能させる基であり；

R₁およびR₂は独立して—H、—OH、アミノ、C₁—C₈アルキルアミノ、C₁—C₈ジアルキルアミノ、C₁—C₈アルコキシ、C₁—C₈アルキル、C₁—C₈ハロアルキルまたはハロゲンであり；

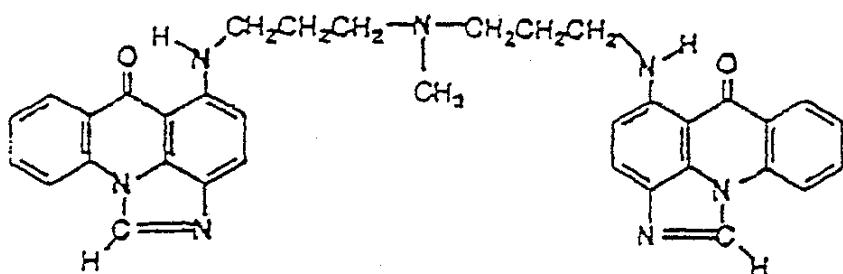
nは2～6であり；

XおよびX'は独立して—Nまたは—NO₂であり；

YおよびY'は独立して—Nまたは—CHまたは—Hであり；

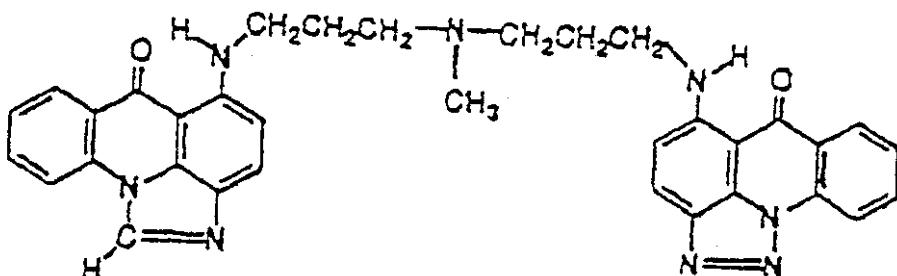
二重破線は二重結合または結合なしを表し；したがって、XまたはX'が—Nであり、YまたはY'が—CHまたは—Nである場合、二重破線は二重結合であり、XまたはX'が—NO₂であり、YまたはY'が—Hである場合、二重破線は結合なしである) の化合物および薬剤学的に許容しうるキャリヤーを含む、ウイルス複製を阻害するための薬剤組成物。

3. 化合物が次式：



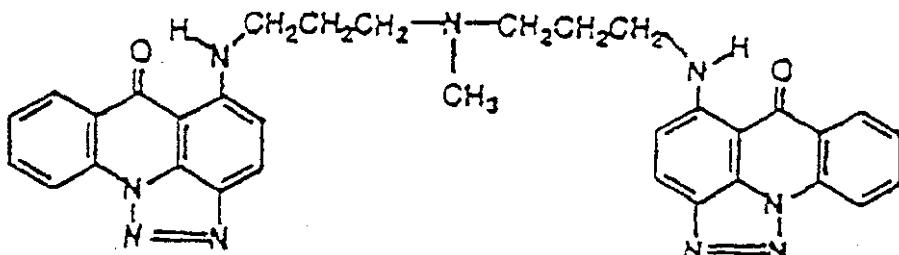
を含む、ウイルス複製を阻害するための請求項 2 記載の薬剤組成物。

4. 化合物が次式：



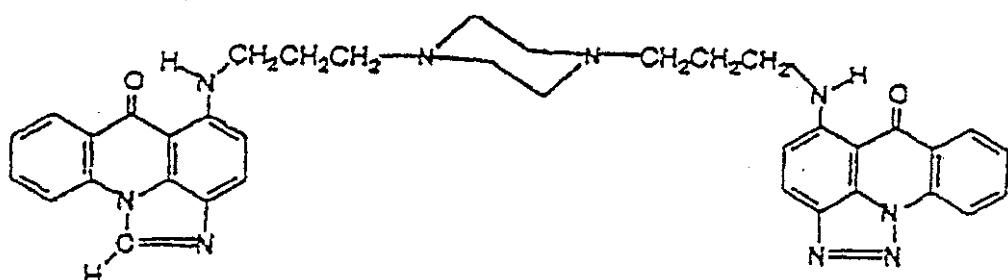
を含む、ウイルス複製を阻害するための請求項 2 記載の薬剤組成物。

5. 化合物が次式：



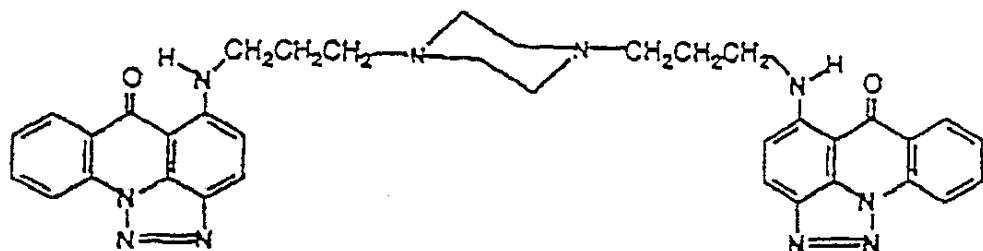
を含む、ウイルス複製を阻害するための請求項 2 記載の薬剤組成物。

6. 化合物が次式：



を含む、請求項 1 記載の化合物。

7. 化合物が次式：



を含む、請求項 1 記載の化合物。

8. 請求項 1 記載の化合物および薬剤学的に許容しうるキャリヤーを含む、ウイルスの複製を阻害するための薬剤組成物。

9. 請求項 1 記載の化合物および薬剤学的に許容しうるキャリヤーを含む、新生物細胞増殖を阻害するための薬剤組成物。』